

CEAP分類

- 慢性静脈疾患を
臨床症候C (Clinical manifestation) –
病因E (Etiologic)-
解剖A (Anatomic distribution)-
病態生理P(Pathophysiologic) の4項目に分け
記述するための分類
- 2020年改訂新版

(Lurie F, et al. J Vasc Surg Venous Lymphat Disord 2020; 8: 342-352)

臨床(C)分類

- C₀: 視診触診上 静脈疾患の徵候なし
- C₁: 毛細血管拡張、クモの巣状静脈瘤 あるいは網目状静脈瘤
- C₂: 静脈瘤
- C_{2r}: 再発性静脈瘤
- C₃: 浮腫
- C_{4a}: 色素沈着、湿疹
- C_{4b}: 脂肪皮膚硬化症、白色萎縮
- C_{4c}: 静脈拡張冠(冠状静脈拡張)
- C₅: 治癒した潰瘍
- C₆: 活動性潰瘍
- C_{6r}: 再発性活動性潰瘍
- S: 有症状
- A: 無症状

病因(E)分類

- E_p: 一次性
- E_s: 二次性
- E_{si}: 二次性 - 血管内原因による(DVT, 血管内腫瘍など)
- E_{se}: 二次性 - 血管外原因による(非血栓性壁外圧迫など)
- E_c: 先天性
(静脈無形成、静脈奇形
(Klippel-Trenaunay症候群など)
- E_n: 静脈性の原因が同定されていないもの
- ※複数の病因が共存する場合複数の下付き表記が必要になる場合がある(例、Epsi, Esieなど)

解剖(A)分類

- A_s: 表在静脈
- A_p: 穿通枝
- A_d: 深部静脈
- A_n: 部位が同定されていないもの
- ※A分類の詳細表記は別項目あり

病態生理(P)分類

- P_r: 逆流
- P_o: 閉塞
- P_{r,o}: 逆流及び閉塞の併存
- P_n: 病態生理学的静脈異常が同定されないもの

A分類 解剖部位 詳細

※P分類の後に病態に該当する部位を記載する

A_s 表在静脈

Tel: 毛細血管拡張

Ret: 網目状静脈

GSVa: 膝上部大伏在静脈

GSVb: 膝下部大伏在静脈

SSV: 小伏在静脈

AASV: 前副伏在静脈

NSV: 非伏在静脈

A_p 穿通枝

TPV: 大腿部穿通枝

CPV: 下腿部穿通枝

A_d 深部静脈

IVC: 下大静脈

CIV: 総腸骨静脈

IIV: 内腸骨静脈

EIV: 外腸骨静脈

PELV: 骨盤静脈

CFV: 総大腿静脈

DFV: 大腿深静脈

FV: 大腿静脈

POPV: 膝窩静脈

TIBV: 脛骨静脈

PRV: 腓骨静脈

ATV: 前脛骨静脈

PTV: 後脛骨静脈

MUSV: 下腿筋肉枝

GAV: 胫腹静脈

SOV: ヒラメ筋静脈

A_n 部位が同定されていないもの

2020年版CEAP分類の変更点

C

(臨床分類)

C4c追加
(静脈拡張冠/
冠状静脈拡張)

C2, C6に
再発記述(r)
追加

E

(病因分類)

Ese

(血管外原因)

Esi

(血管内原因)

※本改訂により、
以前諸論文でprimary venous
disordersに分類された
iliac compression syndrome
(May-Thurner 症候群)は、
Esieと記述され、二次性の一つと
なった(実態に合わせた記述)

A

(解剖分類)

部位記述を
(1) A分類に
(2) 略語使用に
変更

P

(病態生理分類)

内容改訂なし
(部位記述の
変更のみ)

(Lurie F, et al. Eur J Vasc Endovasc Surg. 2020; 59: 859–860)
Akagi D et al. International Committee, Japanese Society of Phlebology



日本静脈学会

C4 (皮膚皮下組織變化)例

C_{4a}

色素沈着
湿疹



C_{4b}

脂肪皮膚硬化症
白色萎縮



C_{4c}

靜脈拡張冠 /
冠状靜脈拡張
(corona phlebectatica)



CEAP 使用例



- C; 静脈瘤
脂肪皮膚硬化症
活動性潰瘍
<有症状>
- E; 一次性
- A; 表在、穿通枝
(膝上／膝下大伏在靜脈
下腿穿通枝)
- P; 逆流

$C_{2,4b,6S}$, E_p, A_{sp}, P_r, GSVa, GSVb, CPV